



東比田地区のイチオシ!

比田地域の交通を支える

～東比田から比田全域へ

えーひだ交通運営協議会～



送迎の様子。玄関先まで車が来るため、自宅前に急な坂があるといった人でも安心して利用ができます。
運送の開始に先立ち、平成30年9月に協議会が設立され、市から車両が貸与されました。

比田地区には、交通の手段がない人を無料または低価で運送する「えーひだ交通運営協議会」(以下、協議会)があります。この運送は、利用者の事前予約に応じた経路やスケジュールで運行する、デマンド交通という方式で行われています。
デマンド交通が始まるきっかけとなったのは、「出かけるのに不便」「車がない、運転できない」といった住民からの声。平成28年度からえーひだカンパニーや比田地区自治協議会、東比田・比田交流センターなど多数の団体が関わり検討が続けられました。運送の開始は平成31年4月。東比田交流センターに事務局が置かれ、東比田のみでの開始となりましたが、令和3年度には待望の比田地区全体での運行も開始されることとなりました。
現在ドライバーのボランティアは約40人、令和3年度には東比田で584回と多くの利用がされています。デマンド交通の利用は、最寄りのバス停までの運行、金融機関と商店までの運行(1回300円)、サロンやえーひだ逢愛会のお茶会といった交流センター事業への参加で利用可能です。東比田交流センターの永井功輝館長は、協議会のメンバーでドライバーでもあり、協議会の活動について「利用者は喜んでもらえているが、利用には制限があるため、利便性の向上に取り組みたい」と今後の抱負を語りました。

編集後記

▼夏日が続きますが、山や水辺は涼しくさわやかです。運動不足の自覚はあったので、チャンスとばかり動き回りました。せつかくなので万歩計を使っておけばよかったですね。ただ、いつの間にかこんがりとした肌に。暑さを感じなかつたためうっかりしていました。外出の際はみなさまもお気をつけください(岩)
▼デジタル社会に通用する人材育成の象徴として導入した人型ロボット Pepper。市内小学校の6校では Pepper と親しむことでICTの活用につなげたり、プログラミングなどを学んだりすることに役立てられます。7月頃に市役所安来庁舎1階の総合窓口にお目見えしますので、ぜひ話しかけてみてください(つ)

安来市の人口と世帯数 R4.5.31現在

人口合計 / 36,723人 (男:17,666人 女:19,057人)
世帯数 / 14,292世帯

